伊丹市立桜台小学校 学校通信 NO.7　　令和８年９月１日（火）

桜 だ よ り

伊丹市立桜台小学校
校長　日外　亮

令和８年４月 23 日（木）、６年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等をお知らせします。

1　全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、教育の質を継続的に向上させるための重要な手段として位置付けられており、「学力に関する調査」と「学習状況に関する調査」によって学習状況を把握・分析し、指導の改善や学習環境の充実に役立てるために行っています。

今年度の「学力に関する調査」では、国語・算数の２教科（各 45 分間）に関する問題を通して、基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、それらを活用して課題を解決する力や、自分の考えを表現する力などを確認しました。また、「学習状況に関する調査」では、児童質問調査において、学習習慣や生活習慣、学習意欲、ICT 機器の活用状況、読書活動などについて確認しました。

これらの調査結果を基に、授業改善や教育課程の見直しを行い、主体的に学ぶ子どもたちの育成に生かしまいります。

なお、調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面であることを申し添えます。

2　調査結果について

(1)　学力に関する調査結果について

国語は、全国平均を下回る結果でした。

国語では、子どもたちが資料や文章から必要な情報を読み取り、その情報を根拠として自分の考えを表現する力に課題が見られました。特に、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる、「【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く」問題では、正答率が低かったです。この問題では、自分の考えと区別して 140 字以内で書くことが求められており、多くの子どもたちが苦労していました。

子どもたちが情報を整理し、論理的に考えを伝える力を育成することが、今後の学力向上の重要な課題であるため、引き続き、国語だけでなく各教科においても、資料を基に考えをまとめる活動や、根拠を明確に示して説明・記述する学習を充実させてまいります。

算数は、全国平均を下回る結果でした。

算数では、図形や割合に関する理解と、それらを日常生活の場面に結び付けて考える力に課題が見られました。特に、立方体の体積の求め方を理解して活用する問題や、基準量・比較量・割合の関係を捉えて考察する問題の正答率が低く、子どもたちが数量の

関係について根拠をもって説明することが苦手であることが分かりました。また、図形の性質や条件を基に考え、筋道を立てて判断する問題においても十分な定着が見られませんでした。

公式や解法を機械的に適用するだけでなく、なぜその方法で求められるのかを図や式、言葉を用いて説明する学習の充実が必要であり、割合については数量関係を視覚的に表したり、身近な場面と関連付けたりしながら理解を深めることが重要です。

今後も引き続き、図形や数量の学習においては、具体物や図を活用しながら考える過程を重視し、自分の考えを互いに説明し合うといった授業づくりを進め、子どもたちが数学的な見方・考え方を働かせ、根拠をもって判断し表現する力を育成してまいります。

(2) 学習状況に関する調査結果について

表の数値は%で、肯定的に回答した児童の割合（23、26、35 番を除く）

・ 生活習慣

番号	質問事項	本校	全国
1	朝食を毎日食べていますか	94.2	93.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.6	82.8
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	90.7

・ 自尊感情等

番号	質問事項	本校	全国
9	自分には、よいところがあると思う	81.6	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	75.7	81.8
14	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.1	95.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	75.7	85.7
16	自分と違う意見について考えるのは楽しい	66.0	77.9
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	80.6	92.5
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	73.8	80.1

・ 学習習慣

番号	質問事項	本校	全国
22	自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	66.0	79.4
23	普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（１時間以上）	35.9	49.9
26	普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（３０分以上）	18.4	26.1

・ ICT（5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器について）

番号	質問事項	本校	全国
35	授業で、ＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか（週３回以上）	49.5	68.8
36-3	ICT 機器を使って情報を整理することができる	54.4	69.5
36-4	ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	46.6	74.6

・ 主体的・対話的で深い学び（５年生までに受けた授業で）

番号	質問事項	本校	全国
38	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している	55.3	66.4
42	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方	75.7	85.7

	に気付いたりすることができる。		
46	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	88.3	91.4

・ 教科

番号	質問事項	本校	全国
53	国語の勉強は好きだ	48.5	57.4
61	算数の勉強は好きだ	54.4	57.6

「生活習慣」の項目では、特に朝食の摂取に改善が見られました。朝食を抜くとエネルギー不足となり、授業への集中力に影響を及ぼしたり、体育の授業や休み時間の外遊びなどでは、体を動かす場面でエネルギー不足となり、熱中症のリスクも高まったりします。ご家庭でお子様が確実に朝食を摂取できるよう、引き続きご配意よろしくお願いいたします。また、睡眠の『毎日、同じくらいの時刻』の寝起きについてですが、一見規則正しいように見えますが、寝る時刻については遅くなり過ぎていないでしょうか。お子様の心身の成長に睡眠は欠かせません。睡眠時間の確保に向けた声掛けをお願いいたします。

「自尊感情等」の「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目は 97,1%と、子どもたちの温かく優しい気持ちが表れており、素直に嬉しいです。そのような子どもたちだからこそ、しっかりと学力も伸ばしてもらいたいです。

しかし、『学校に行くのは楽しいと思う』の項目で75.7%と数値が低かったことは、大きな課題として捉えています。「教科」の「国語や算数の勉強は好きだ」の結果も関係していると思われます。これらを真摯に受け止め、授業改善に取り組んでまいります。

「学習習慣等」では、学校以外で平日 1 日 1 時間以上勉強をしている 6 年生は 35.9%であり、昨年度から 13 ポイント下がりました。基礎基本の定着や学習習慣の確立による学力向上や、中学校との円滑な接続に向けて、ご家庭での学習時間の確保につきましても、ご配意いただきますようお願いいたします。

「ICT」については、あくまでもツールの 1 つと捉え、紙媒体やアナログの良さを踏まえつつ、場面に応じて使い方に工夫を凝らし、質の向上を図ってまいります。

「主体的・対話的で深い学び」は、本校の研究、「自ら進んで学びを積み重ねていく子どもの育成～「書きたい」「話したい」を実現する場づくり～」を推進する中で、日々授業改善を図り、引き続き、その解決に向けて取り組んでまいります。

桜台小学校ホームページ

【トップページ】

【校長先生の日記】